

### 新型コロナウイルス感染拡大による各団体の対応・対策

(2020年1月～2021年3月)

奈良県弓道連盟構成団体へ、新型コロナウイルス感染拡大による各団体の対応についてアンケートを実施しました。アンケート対象期間 2020年1月から2021年3月。対象団体は各支部、事業所、中学校、高等学校、大学で、支部・団体 11件、中学校 7校、高等学校（高等専門学校含む）14校、大学 4校の代表の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

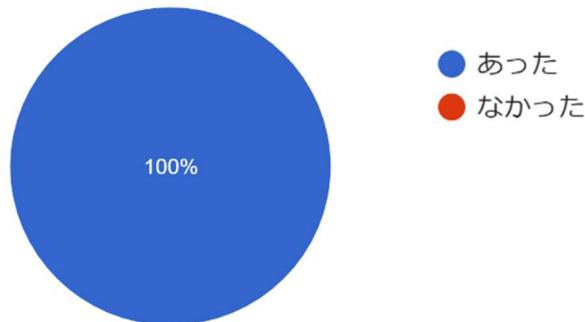
このアンケートは、施設の閉鎖や休校、部活動の停止、部外者の入構禁止、などの措置により、同県内でありながら各団体との交流がなくなってしまったことから、どのような事に悩み、対応し、対策し、この異常な事態を乗り越えてきたのかをお互いに知り、奈良県弓道連盟として記録しておくものとして行いました。

なお、アンケート内容については、支部・団体と学校関係は質問内容が異なるものがあります。また、全校、全施設という表現がありますが、アンケートにお答えいただいた全校、全施設であり、奈良県内のすべてではありませんので、ご了承ください。

#### 【①休校・休止や閉鎖について】

##### ①-1 休校した時期がありましたか。

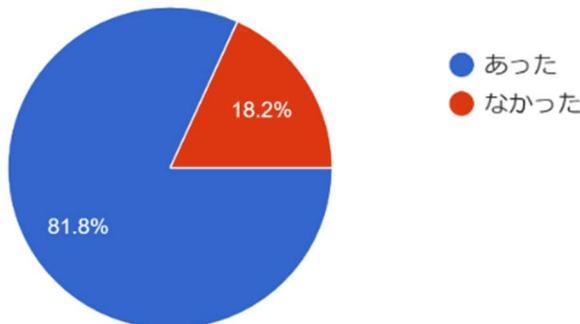
(中学7校、高校14校、大学4校) 25校中25校の回答



学校関係は、すべて休校の時期があった。

##### ①-1 弓道場や弓道施設の閉鎖や使用できなかった時期はありましたか。

(支部・団体) 11件中11件の回答



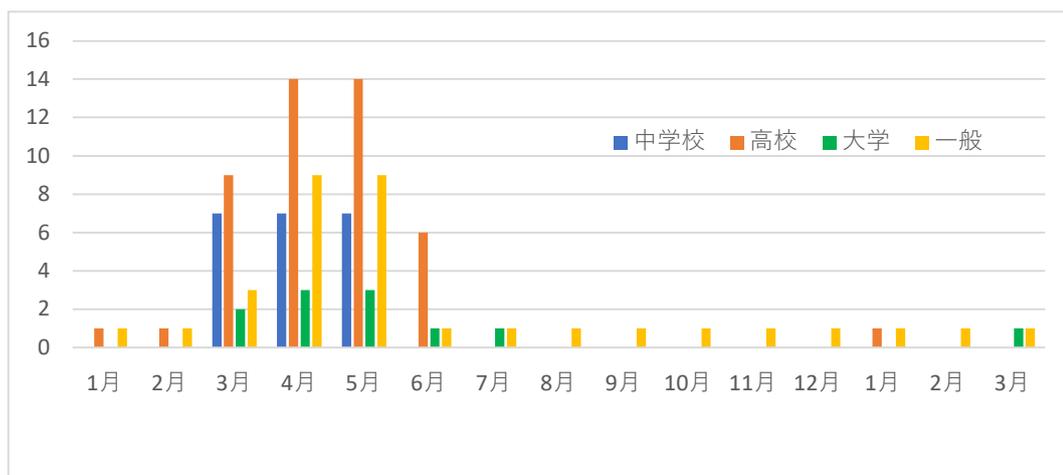
支部・団体では80%以上の施設で休止が見られたが、一部個人道場や利用者が少ない所は不可の時期がなかった。

①-2 ①-1であった方、いつ頃ですか（複数回答可）

区分	回答数	2020年												2021年		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中学校	7			7	7	7										
高校	14	1	1	9	14	14	6							1		
大学	4			2	3	3	1	1								1
一般	11		2		8	8										

その他) ・まだ使用できない

- ・公式練習会は中止。各自コロナ対策を実施し自主練習として道場は開放
- ・弓道部としての合同練習は休止中。来年度から再開予定。



3~5月が多い。

中学では3-5月で全校休校。

高校では、早い所では1月から休校、4月5月は、14校すべてで休校。

また、まん延した翌年の1・3月にも休校している所がある。

支部・団体では4-5月閉鎖が多く、自主的に休部あり。

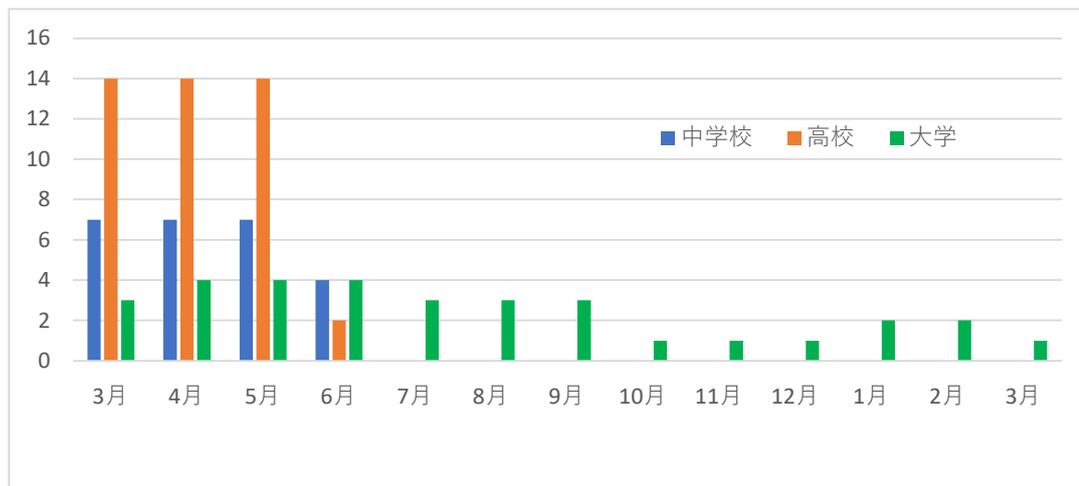
【②部活動休止について】（学校関係に質問）

②-1 弓道部活動の休止はありましたか。

25校全校で、休止あり。

②-2 ②-1であった方、いつ頃ですか（複数回答可）

区分	回答数	2020年												2021年		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中学校	7			7	7	7	4									
高校	14			14	14	14	2									
大学	4			3	4	4	4	3	3	3	1	1	1	2	2	1

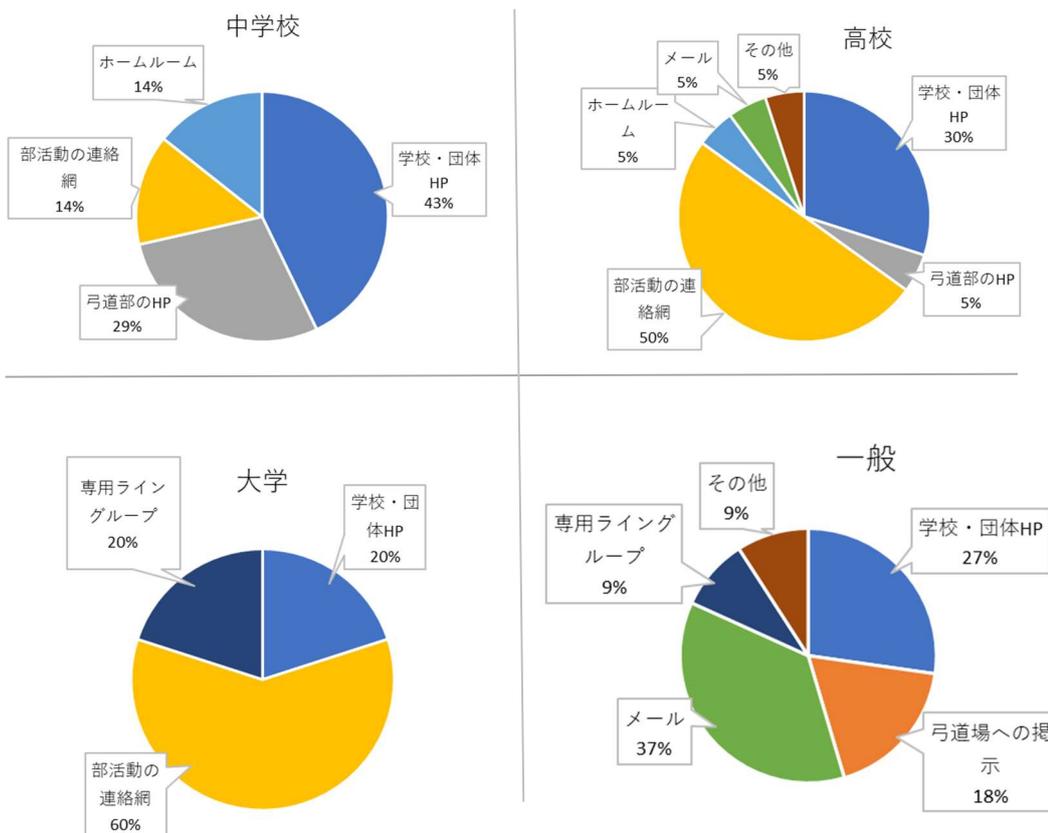


中学、高校は、休校と部活休止がほぼ同じで2~3か月の休止が多い。

大学の休校はほぼ3~5月だが、部活動の休止は長く続いている。

### 【③連絡体制】

③-1 (一般) 閉鎖の連絡はどのように行いましたか。(複数回答可)  
 (学校) 部活動休止について、学生への連絡はどのようにして行いましたか。(複数回答可)



想定外の事態に対し様々な方法で連絡している。

学校関係は確実に連絡できる。

支部・団体では、全会員への伝達は団体により異なり、連絡体制ができていたか否かによる。

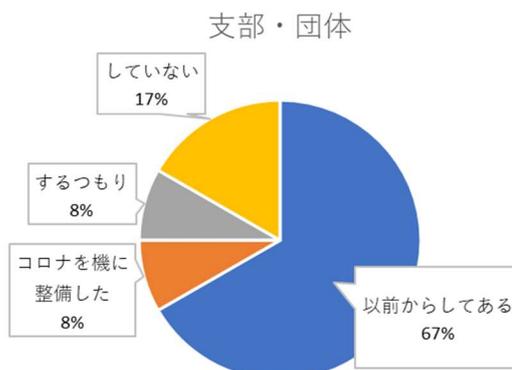
区分	回答数	学校・団体HP	弓道場への掲示	弓道部のHP	部活動の連絡網	ホームルーム	メール	専用ライングループ	その他
中学校	7	3		2	1	1			
高校	14	6		1	10	1	1		1
大学	4	1			3			1	
一般	11	3	2				4	1	1

その他) ・オンライン (Google suite for Education)連絡等  
 ・電話、協会便り等

③-2 連絡網やホームページ等、会員と団体の連絡体制を整備しましたか

(支部・団体に質問) 11件の回答

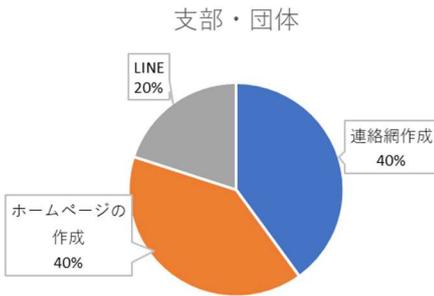
区分	回答数	以前からしてある	コロナを機に整備した	するつもり	していない	しない
支部・団体	11	8	1	1	2	0



以前から整備してある所が多いが、今回整備した、これからする、していない、がまだあり、連絡体制の整備が急がれる。

③-3 ③-2で整備したのは、どのような形態ですか（複数回答可）

（支部・団体に質問）



区分	回答数	連絡網作成	ホームページの作成	LINE
支部・団体	5	2	2	1

HPのように自分から閲覧するタイプとメール・SNSなど送られてくるタイプの連絡体制がある。

会員の使い勝手を考えた対応も必要とされる。

【④休止中の活動】（学校関係に質問）

④-1 休止の間にリモート等によるミーティングや練習等の活動を行いましたか。  
（複数回答可） 25件の回答



中学・高校の休止は長くて3~4ヶ月であり、学校で実際に会って会話ができたのではないかと推察する。大学生は休部が長く、コミュニケーションの手段としてリモート等をつなぐ必要もあったのではないかと推察する。

区分	回答数	した	していない
中学校	7	7	0
高校	14	12	2
大学	4	2	2

④-2 ④-1で行った活動はどのようなものでしたか。（した4件中4件の回答）

- ・ミーティング、学内手続き
- ・オンライン連絡でゴム弓・体配の確認の指示（自主練習形式）
- ・リーグ戦に参加するかどうかを相談。
- ・学校以外の公営道場にて有志による自主練習

## 【⑤弓道活動再開時の制限】

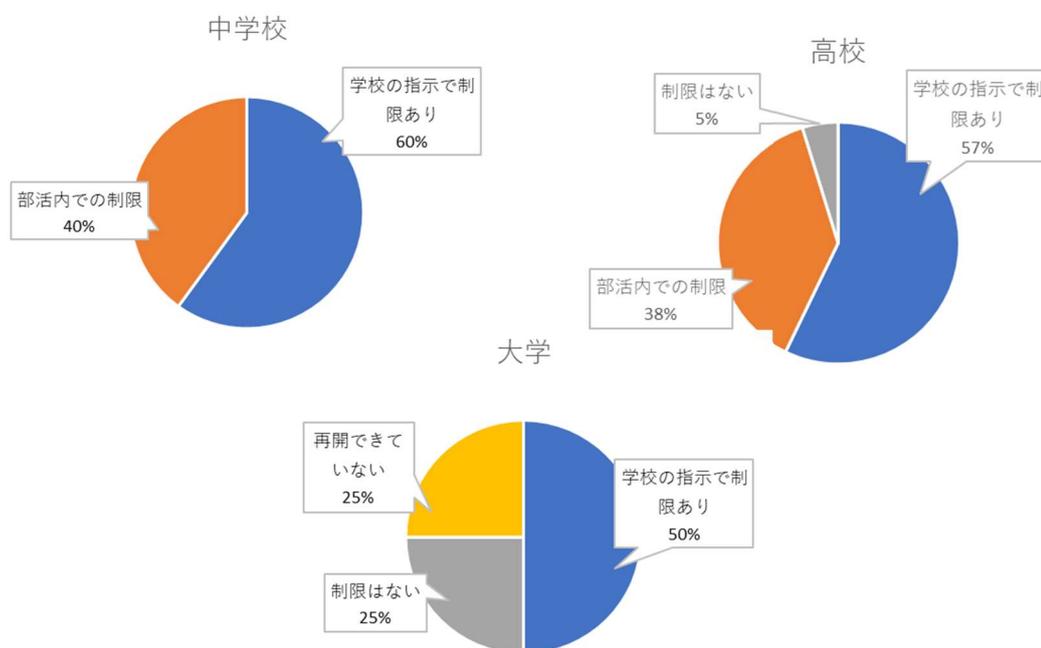
⑤-1 閉鎖等の解除後、練習会、教室及び試合など多人数での活動はいつ頃から、どのような活動を始めましたか。（支部・団体に質問）

区分	回答数	2020年												2021年			
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
練習会	5						5										
試合	1						1										
教室	4					1	1	1		1							
講習会	1						1										

その他）・まだ再開していない 1件

⑤-2 再開にあたって弓道場または学校で設けられた制限はありましたか。

（複数回答可）（学校関係に質問）



区分	学校の指示で制限あり	部活内での制限	制限はない	再開できていない
中学校	6	4		
高校	12	8	1	
大学	2		1	1

その他）一時期再開の話が上がったが、2021年3月卒業生に罹患者が出て以来、再開のめどがたっていない状況。

⑤-3 ⑤-2で設けられた、制限はどのようなものでしたか

### 中学校

#### ●学校からの制限

- ・練習時間を1時間程度、密にならないような練習メニュー

一般では練習会や教室から再開が多い。6月からが多いが、秋まで再開できなかった所、また、今もできていない事業所がある。

学校からの指示に加えて弓道部として制限を設けている。

- ・声だしの禁止、他都市との交流禁止
  - ・部室での更衣は3人ずつ。平日の活動（準備体操開始から、整理運動終了まで）は平日2時間以内、休日3時間以内。基本的にはソーシャルディスタンス2m。
- 6月最初の2週は生徒半数ずつ隔日登校で、授業を受けた半数の生徒のみが部活動に参加可、参加は強制しない。部顧問が弓道場に必ず居ること。会議等で不在の場合は練習不可。
- ・学校 最初の週は1時間程度から
  - ・部活内 更衣室の利用を制限
  - ・消毒の徹底

### ●部活内の制限

- ・声だしの禁止、道場内での集合の禁止
  - ・声だしの禁止、無観客での試合、合同練習の禁止
  - ・自分の道具は他人に触らせない。
- 別の弓を使う場合は3日以上間隔を空ける。
- 射込みは持ち的で4射連続して行射し、自分の矢は自分で取って拭く。
- 一斉に練習を終わらずに最後の射込みを終えた者から順次更衣。
- 的間隔を2m以上にして3的で練習、11月からの的間隔1.7mで4的。
- ・マスク着用、弓具・施設の消毒・矢取り前後の手指消毒

## 高校

### ●学校からの制限

- ・練習時間の制限等
  - ・検温、マスクの着用、手洗い消毒、密を避ける等の対策
  - ・休日を含めた検温
  - ・密にならない様な配慮やマスク着用、共有物の消毒
  - ・部活内 矢取りは自分の矢のみ
  - ・再開後2週間は、団体活動禁止・活動時間短縮・人数制限
  - ・6月は午前の登校組、午後の登校組に分けられた。
- 1日ごとに入れ替わっていたので、部活動の活動も午後の組のみ可能であった。
- ・終了時刻の制限
  - ・部活内 下校時間厳守、飲食時の会話禁止
  - ①練習試合を組む場合は基本的に2校まで+管理職に報告し、名簿を提出
  - ②県教委からの指示で平日2時間、休日3時間の活動+平日1日、休日1日の休養日を設けること。
  - ③県外の高校との練習試合禁止
  - ・人数や時間の制限、合同練習や来校者の制限
  - ・学校 全校生徒が半数ずつの登校となり、人数を減らして練習した。
  - ・練習時間が平日2時間、休日3時間、休日を平日1日と休日1日設ける規則があった。

密の回避はもちろん、詳細で厳格な制限が実施されている。

声だし、弓の共有ができない等、コロナ禍では今までの習慣を変化させていく必要があったと推察される。自分の矢は自分で取る、順次更衣などの対策がなされていた。

中学校と同じく、矢取りの方法の変更と、人数制限の工夫がなされている。

県教委からの指示は、県連には届かない。このような指示があったことがこのアンケートでわかった。かなり細かい制限がされている。

- ・マスクの着用や消毒、物を共有しないなど感染症対策を行う必要があった。
- ・部室での更衣は3人ずつ。
- ・平日の活動（準備体操開始から、整理運動終了まで）は平日2時間以内、休日3時間以内。基本的にはソーシャルディスタンス2m。
- ・6月最初の2週は生徒半数ずつ隔日登校で、授業を受けた半数の生徒のみが部活動に参加可、参加は強制しない。部顧問が弓道場に必ず居る事。会議等で不在の場合は練習不可。

### ●部活内での制限

- ・①自主練習を行う場合は1週間前までに申告、名簿を作成。連絡無しでの自主練習参加の禁止。
- ②平熱以上の発熱の場合、練習参加の禁止。（目安は37.0℃以上の場合禁止だが、平熱が高い場合は個別に申告）
- ・分散登校時は部員の活動を半分ずつに分けた。的の数を半分にした。
- ・朝練の廃止、練習時間の変更、休日では昼食を挟まない。
- ・活動時間の制限（3時間以内）
- ・行射時以外のマスク着用
- ・自分の道具は他人に触らせない。別の弓を使う場合は3日以上間隔を空ける。  
射込みは持ち的で4射連続して行射し、自分の矢は自分で取って拭く。  
一斉に練習を終わらずに最後の射込みを終えた者から順次更衣。  
的間隔を2m以上にして3的で練習、11月からの的間隔1.7mで4的。
- ・マスクの着用、的間隔を広くした。

### 【⑥弓道活動再開後について】

- ⑥ 部活動の再開後、一般の練習ではなく、練習会、講習会または試合など多人数での活動はしましたか。

#### 中学校

- 8月 中体連のリモート大会、県連の強化練習会
- 10月 市弓道連盟の大会
- 11月 県新人大会、強化練習会
- 12月 強化練習会
- 1月 近畿中学生弓道錬成大会（リモート大会）、強化練習会
- 2月 県団体選手権大会
- 3月 奈良県中学校弓道大会、級審査に参加（ビデオ）

#### 高校

- 8月 県高等学校選手権大会代替大会とその事前練習会に参加、審査会に参加
- 9月 県高校総体予選に参加、近畿大会（大阪）に参加

学校への登校制限により、部活も対応して活動内容を考えられている。

部活内でも制限は厳しく、自主練習も連絡の必要がある。

飲食時の会話による感染が懸念されるため、昼食時間はまたがないように、共有弓に対しては時間経過をさせて感染リスクの低減を考慮している。

リモートによる大会が中学校で行われていた。

奈弓連だより令和2年9月号にリモートによる大会運営の様子を掲載

中学校・高校ともに7月までは大勢の集まる試合はなかったようだが、8月以降、縮小開催など、対策をしながらの開催がされている。

10月 市民大会に参加

11月 全国・近畿選抜県予選、近畿選抜大会に参加

12月 県連のビデオ審査会に参加、強化練習会（滋賀県）

1月 新人大会兼学年別大会に参加

その他）・他校との合同練習、練習試合 ・試合（公式戦）4大会に出場。

・参加していません

・道場及び安土整備

### 【⑦弓道活動再開時の制限（一般）】

⑦-1 再開にあたって施設や支部、協会で設けた人数や時間の制限はありましたか。  
（支部、団体に質問）（複数回答可 10件の回答）

区分	参加人数の制限	時間制限	制限はない
支部・団体	5	2	3

その他） ・まだ再開していない 1件

・時間帯を分けた 1件

⑦-2 ⑦-1であった場合、何時間、何人くらいでしたか？（3件の回答）

・練習時間を3時間ごとに区切り、参加者数を15名に限定

・メイン道場（檀原公苑）40人、サブ道場（檀原中学・白檀中学）20人

・1施設につき、30名まで

### 【⑧リモート環境】

⑧-1 弓道部活動の再開後、リモートで試合やミーティングを行いましたか。

（複数回答可）25件の回答（学校関係）



区分	回答数	した	していない
中学校	7	7	
高校	14		14
大学	4	1	3

施設管理者の設けた制限に従った為、支部や協会で独自の制限を設けなかった場合もあると推察される。

中学校では、試合をリモートで行っているため、100%となっている。

反対に高校では、リモートでの試合やミーティングを行っていない。

大学では、相談のためのリモートミーティングであり、試合はおこなわれなかったようだ。

⑧-2 ⑧-1で「した」と答えた方 リモートで試合を行うための環境としてどのような物を使用または整備しましたか。(複数回答可) 8件の回答

区分	通信環境	カメラ	PC	スピーカー	プロジェクター	スクリーン	パーティションの設置	アプリの取得(または作成)
中学校	5		7					3
高校								
大学	1							1
一般								

その他)・スマートフォン 1校

・スマートフォン三脚 1校

⑧-3 ⑧-1で「していない」と答えた方。しなかった理由は何ですか。

(学校関係) 16件の回答

区分	する必要がなかった	リモートのできる環境がなかった
中学校		
高校	10	4
大学	1	1

その他)・顧問の多忙、弓道場にWi-Fi未設置 1件

中学校では試合があったことからわかるように、リモート環境の整備がされていた。

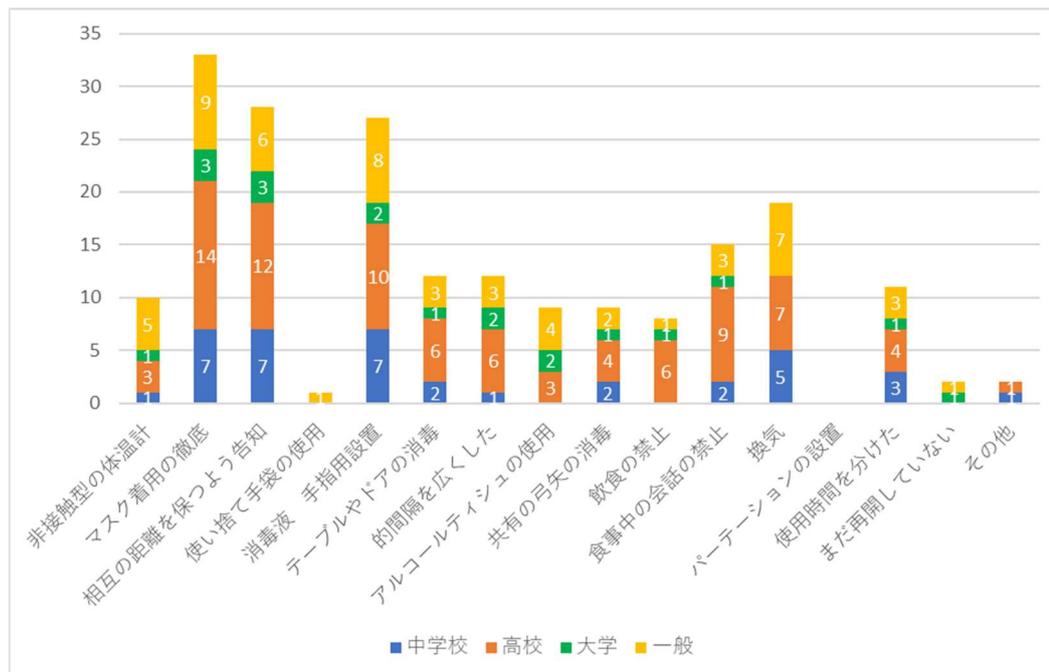
高校では、する必要がなかったからしなかったのか、したかったのに環境がなかったのか。

弓道場のWi-Fi設置が以前からしてあるかどうか影響しているのかもしれない。

【⑨感染予防対策】

⑨ 弓道部活動や練習の再開にあたって、どのような感染予防対策を取りましたか

(複数回答可) 36件の回答(支部・団体・学校関係すべての方に質問)



マスクは断然多く、相互の距離や消毒も意識がされている。

マスクやソーシャルディスタンス、手指の消毒は、当然すべき対策だが、満票ではない。

テーブルやドアの消毒、換気については実施している所は半数以下。

使用時間を分ける、という対策が有効と考えられていて、審査や試合でも2部制にする、受付時間をずらすなどの対応がされていた。

区分	回答数	非接触型の体温計	マスク着用の徹底	相互の距離を保つよう告知	使い捨て手袋の使用	消毒液手指用設置	テーブルやドアの消毒	的間隔を広くした	アルコールティッシュの使用
中学校	7	1	7	7		7	2	1	
高校	14	3	14	12		10	6	6	3
大学	4	1	3	3		2	1	2	2
一般	11	5	9	6	1	8	3	3	4

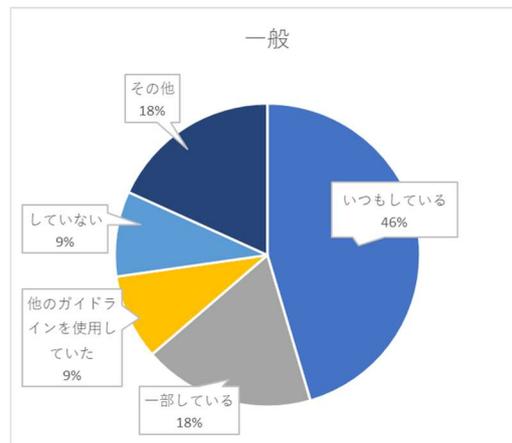
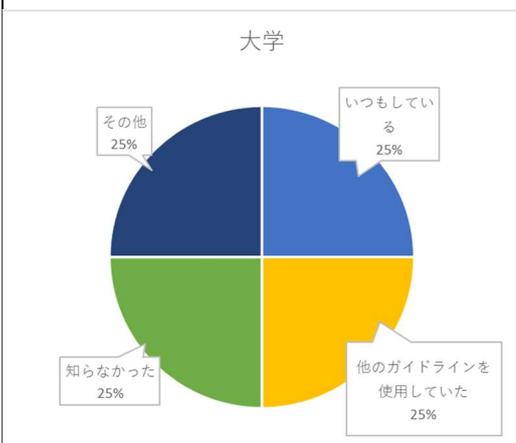
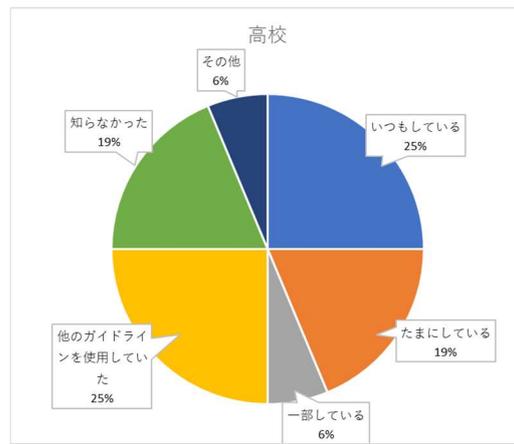
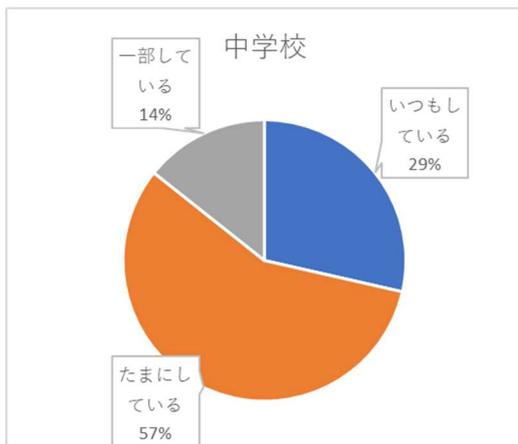
区分	回答数	共有の弓矢の消毒	飲食の禁止	食事中の会話の禁止	換気	パーティションの設置	使用時間を分けた	まだ再開していない	その他
中学校	7	2		2	5		3		1
高校	14	4	6	9	7		4		1
大学	4	1	1	1	1		1	1	
一般	11	2	1	3	7		4	1	

その他) ・教員と学生に簡易体温計を配布した。

### 【⑩⑪⑫感染症防止のガイドライン等について】

⑩ 全日本弓道連盟から出された「新型コロナウイルス感染防止対策弓道ガイドライン」(R2.7.16 発出)は活用されていますか

35 件の回答(支部・団体・学校関係すべての方に質問)



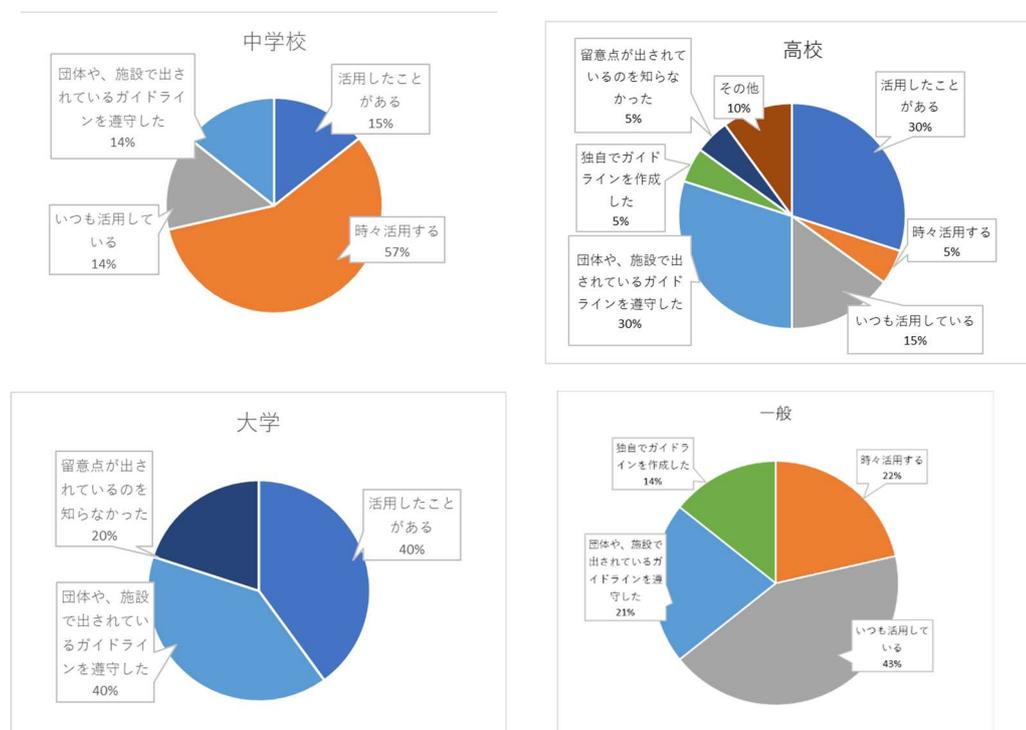
県全体でみると、県連のガイドラインは活用したことはあるが多いが、それ以上に団体や施設や市、その他独自で作成されたものを使用していることが多い。

区分	回答数	いつもしている	たまにしている	一部している	他のガイドラインを使用していた	していない	知らなかった	その他
中学校	7	2	4	1				
高校	14	4	3	1	4		3	1
大学	4	1		1	1			1
一般	11	5		2	1	1		2

その他) ・学校で課外活動ごとにコロナ感染状況に合わせた段階的活動ガイドラインを作成

・練習再開時にはガイドラインの提出が必要だった

⑪ 奈良県弓道連盟から発出された「活動の再開時の留意点」をどのように活用されましたか (複数回答可) 36 件の回答 (支部・団体・学校関係すべての方に質問)



区分	活用したことがある	時々活用する	いつも活用している	活用していない	団体や、施設で出されているガイドラインを遵守した	独自でガイドラインを作成した	留意点が出されているのを知らなかった	その他
中学校	1	4	1			1		
高校	6	1	3			6	1	2
大学	2					2		1
一般		3	6			3	2	

その他) ・学校や市の留意点を活用。

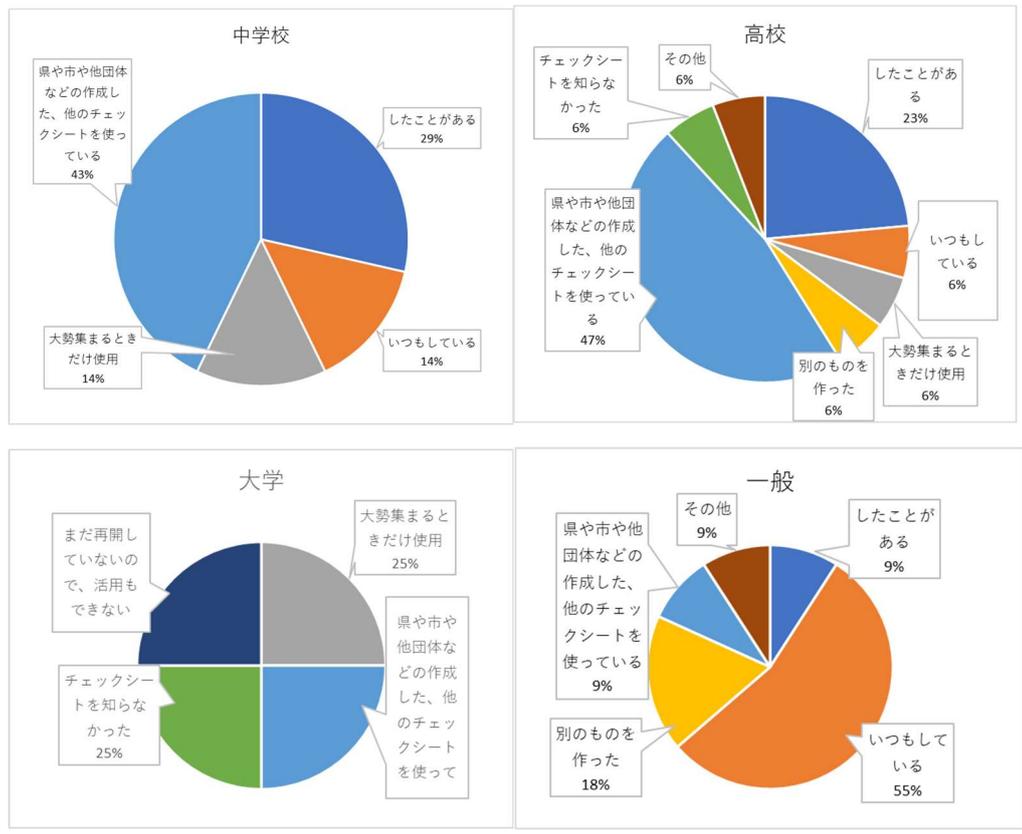
・練習再開申請書にて一部引用させていただいた

学校関係では自治体からの指導が出されているのでそれを主として活用しているとみられる。

留意点、チェックシートも同じといえる。

知らなかったがあるのは、連絡が行き届いていなかったと推察される。

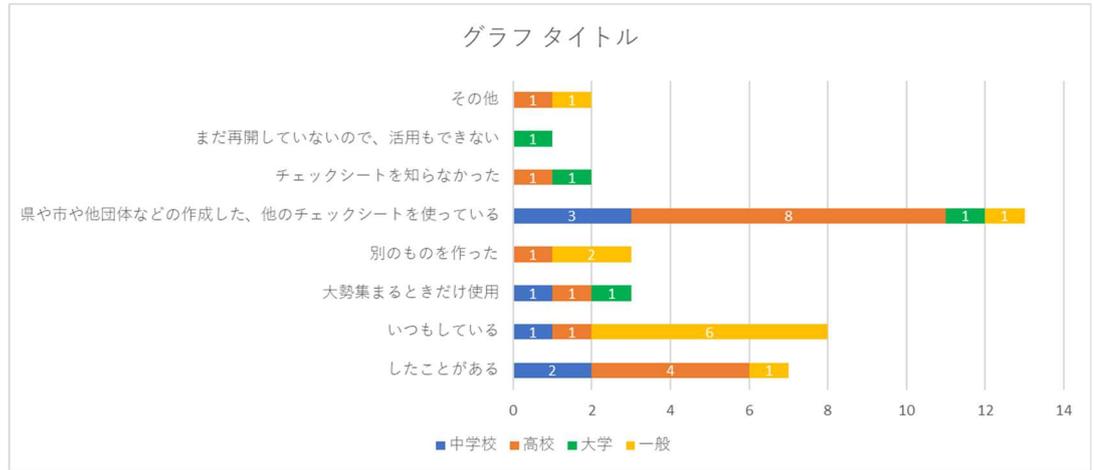
⑫ 奈良県弓道連盟から「感染防止チェックシート」が配信されましたが、活用されましたか（複数回答可）36件の回答（支部・団体・学校関係すべての方に質問）



「いつもしている」または「他のチェックシートを使用している」が多い。

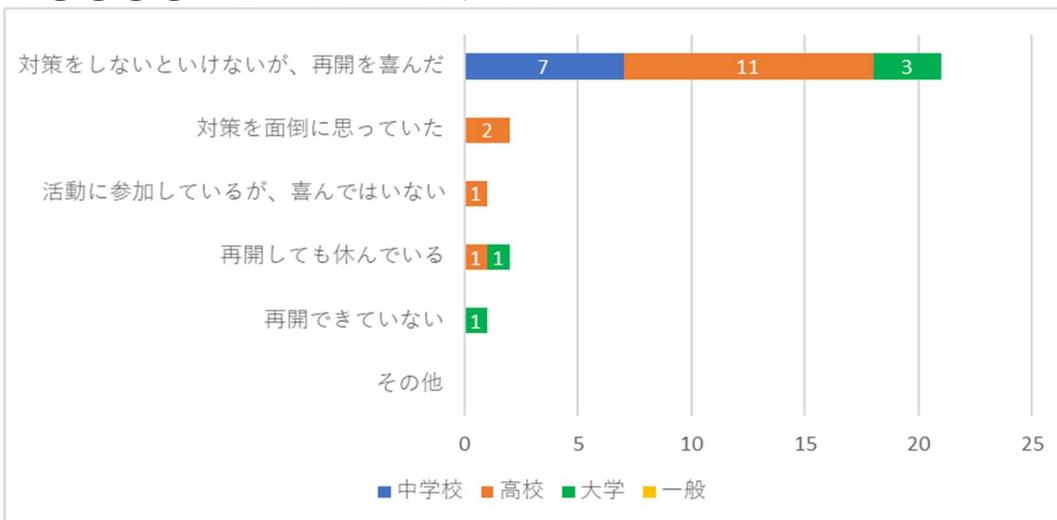
連盟からのチェックシートに限らず、感染防止についての意識が高かったといえる。

区分	したことがある	いつもしている	大勢集まるときだけ使用	別のものを作った	県や市や他団体などの作成した、他のチェックシートを使っている	チェックシートを知らなかった	まだ再開していないので、活用もできない	その他
中学校		2	1	1		3		
高校	4	1	1	1	8	1		1
大学				1	1		1	1
一般	1	6		2	1			1



- その他)
- ・高校で使用していたチェックシートに体温を記入していた。
  - ・以前からある日誌を利用し、消毒や体調管理を自己申告した。
  - ・協会のホームページに掲載した。

【⑬⑭⑮⑯ 会員、生徒の様子】



会員、学生ともに再開を待っていた者が多い。活動ができるような対策が必要とされる。

⑬ 部活動休止中に活動ができないこと、あるいは再開後に通常の練習ができないこと等を理由に辞めた生徒はいましたか。（学校 25 校）

いなかった 25 校

⑭-1 今回の道場や施設の閉鎖又は、再開後も密になること等を理由に辞めた会員はいましたか。（支部、団体に質問）

区分	回答数	いた	いなかった	わからない
辞めた会員	10	2	7	1

⑭-2 ⑭-1 でやめた会員は何人ですか。

3人

⑮ 再開後、施設や弓道場利用者の人数は閉鎖前と比較して概ねへっていますか。

（支部・団体に質問）

区分	回答数	減った	減っていない	わからない
個人利用	9	1	6	1
練習会等人が集まるもの	10	2	8	

練習会など、多くの人が集まる所を避ける人はいるようだが、個人利用の人数は減少していない。

⑯ 会費の減額はしましたか（支部、団体に質問）（11 件の回答）

区分	回答数	減額した	減額しなかった	会費をなくした	会費はない
会費の減額	11	2	7	0	2

⑩コロナ禍の時期、工夫して今までより改善された事や、新しい取り組みがあればお知らせください。

### 【学校関係】

#### 1. 活動の工夫

- ・学校で練習できないため、他の公営道場で有志による自主練習をした。
- ・練習開始時間を1時間遅らせたり、朝練を廃止した。すると、睡眠不足が軽減し、授業の集中力が上がり、成績が上がった生徒がいた。

#### 2. 活動の指針

- ・学校では、課外活動ごとにコロナ感染状況に合わせた段階的活動ガイドラインを作成した。
- ・「活動の再開の留意点」を大変参考にさせていただき独自のものを作成した。

#### 3. その他

- ・手洗いや消毒、マスクの着用など日常生活でも当たり前になっている。

### 【支部・団体】

#### 1. 活動の工夫

- ・コロナ禍の時期に檀原公苑弓道場の耐震工事が重なり、テニスコートでの練習になりました。屋外でしたので、換気の面では大丈夫でしたし、練習後は速やかに帰宅しました。道場での練習が再開しましたが、マスク着用と無駄な会話をしないよう注意しています。
- ・例年実施している郡山弓道大会に通信制大会の要素を取り入れた。9/21（月）～11/17（土）の期間内で各チーム計36射（各自一手坐射6回）を行う。行射は複数日に分けて実施し、記録。当該記録を元に決勝進出チームを決定し、当該チームのみで決勝大会を実施。
- ・コロナ禍での道場閉鎖中は、会長より定期的に資料提供があり、会員個々が座学に取り組んだ。その後も資料による独学を行う会員が増えているように思われる。
- ・練習会におけるお茶の時間を廃止したことで、練習への集中する傾向が強くなった。また、これを廃止してもコミュニケーションには問題がないことがわかった。
- ・大人と子供の教室が同じ時間帯であったのを分けたため、それぞれ集中して指導できるようになった。

#### 2. 施設について

- ・この時期でしかできなかった射場の床の張替え、古くなった壁、屋根等のDIYを会員の協力で実施できた。射場が狭くてできなかった射礼もできるよう改善できた。

⑪これまでの対策等で苦労されたことや工夫されたこと、また現在思うことがあれば、ご記入をお願いします

### 【学校関係】

#### 1. 生徒・学生について

- ・新2年生が、大会準備や補助員を経験しておらず、今後引き継いでいけるかが心配である。
- ・3年生は復帰できずに部活動再開と同時に引退となってしまった。
- ・高校生の間に全員が出場できる試合は数えるほどしかなく、その試合を一つの目標に日々の練習に取り組んでいるので、少しでも多く射させてあげたいと思う。
- ・練習が十分におこなうことができず、1年生を中心に的中が上がらず、今後の指導が重要と考えられる。

- ・4月5月休校のため、高校で初めて弓道をはじめた新入生の練習が出来ず、大幅に練習計画が遅れた。
- ・2,3年生についても高校生最大の目標であるインターハイが中止となり、多くの生徒が落胆し、それを励ますのに苦労した。
- ・多数の部員がおり、練習時間が制限される中で個々の練習量が不足している。

## 2. 大会運営等について

- ・ならでん弓道場では9等で試合を行えず、その結果、時間の都合で、試合で生徒が4射しかできないことが多くあった。
- ・感染症対策を十分おこなった上で、試合の的数の制限が少しでも緩和されたらよいと思う。
- ・本年度は檀原高校で大会を2回行ったが、感染症対策等非常に大変であった。
- ・会場、控え室、トイレ等の消毒の徹底や密を避けるための控え室の用意、時間の分散等々、檀原高校の顧問だけでは対応しきれない部分もあった。
- ・的間を広くするために的数を減らすと、控え室等が密になってしまった。
- ・大会の場合、射場内での発声は少ないため、的数を増やして控え室の密を避ける方が良いと感じた。
- ・マスクをつけた状態で弓を引くのは非常に危険であると感じる。また、マスクが外れて遠くへ飛んでしまう可能性もあるのではないだろうか。
- ・公式戦でも、大会毎にコロナ感染症の状況を考慮して、参加申込書様式の変更（自己申告を含む）し、男女別などに時間帯を分けたり、試合の内容を変更したり、様々な対策をした上で開催した。
- ・次年度もしばらく、この状況が続くと考えられるが、多くの高校生が参加できるように大会を開催する方策を検討していきたい。

## 3. 施設・道具について

- ・射場が狭いということもあり、相互の距離を保つのが大変であった。早い段階から使用時間を分けて行うことができればよかった。
- ・弓の消毒をどのようにするか（アルコールで拭いて良いかどうかわからなかったため、貸し借り無しとしていた）

## 4. オンラインを活用した部活動について

- ・本校は高等教育機関として学寮を有するとともに県外からの通学生を多く抱えていることから、県内高等学校のような早期の授業再開ができませんでした。その分、遠隔授業の環境を早急に整えることはできましたが、遠隔対応教材準備や学校運営に忙殺され、授業再開後も、部活動指導に十分な時間を取れないまま1年間が終わりました。学生といつでも遠隔通信できる状況が構築されたことで、今後は登校禁止となった場合にも稽古が途切れないよう、遠隔での部活動を実施したいと考えています。

## 5. その他

- ・マスク着用の徹底や消毒については、特に気を配っていた。

## 【支部・団体】

### 1. 活動内容の変更について

- ・例年、前後期の2期に分けて実施してきた「未経験者弓道教室」の開講を中止せざるを得ず、既に申し込みをされていた方々に延期の通知をした（まだ再開の目途は立っていない）。
- ・三密を避けるため、練習時間・日時を設定せずに練習している状態で、射礼・体配等の練習がややできていない状態です。例会もできない環境にあり、一日も早く以前の状態に戻ることを願っています。

## 2. 人数制限について

- ・弓道教室は以前は、当日来られた方をすべて受け入れていたが、密を避けるため受け入れ人数を制限した。
- ・人数制限をしていることもあり、他支部等、協会員以外の練習会・研修会・大会への受け入れを止めているため、広く多くの人に練習してもらう機会がなくなっている。

## 3. 会員の意識について

- ・会員の皆さんが、コロナ感染対策に協力してくれています。
- ・マスクをせずに稽古をしている人は、そのままマスクをせずにしゃべることが多い。
- ・奈良での感染が落ち着いていることもあるが、徐々に控え等での雑談やマスク着用が疎かになるなど、ゆるみがみえてきている。
- ・称号受有者でコロナ感染警戒の意識から行事参加を見送る会員が複数あり、指導者不足の状況。

## 4. その他

- ・指導の仕方や練習会のあるべき姿を考え直すいい機会になった。
- ・良かった点は、道場が美しく、少しでも広く使えるようになりました。
- ・この道場はいつでも利用可能ではあるが、チームワークが取りにくいデメリットがあります。みんなが集まって、例会等できるようになればと思っています。
- ・早く以前のような連盟行事や練習会等の体制になってほしいですね

アンケートにご協力いただいた皆さん（順不動）

橿原市立大成中学校 香芝市立香芝中学校 天理市立南中学校 奈良県立青翔中学校

橿原市立八木中学校 橿原市立橿原中学校 橿原市立白橿中学校

県立五條高等学校 県立磯城野高等学校 県立畝傍高等学校 県立平城高等学校

県立奈良北高等学校 県立登美ヶ丘高等学校・国際高校 県立榛生昇陽高等学校

県立橿原高等学校 県立奈良高等学校 県立法隆寺国際高等学校 県立青翔高等学校

国立奈良工業高等専門学校 大和高田市立高田商業高等学校 橿原学院高等学校

国立奈良教育大学体育会弓道部 国立奈良女子大学弓道部 畿央大学 奈良県立医科大学体育会弓道部

布目弓道クラブ 生駒市弓道協会 蒼穹会 錬弓会 五條弓友会 シャープ弓道部

奈良市弓道協会 関西電力弓道部 大和郡山市弓道協会 橿原市弓道協会 石打西浦道場

ご協力ありがとうございました。

## 編 | 集 | 後 | 記

昨年初めに新型コロナウイルスが話題に上り始めた頃には考えられなかった、各地の長期にわたる緊急事態宣言やまん延防止対策などの実施。また、オリンピックの延期、各種行事の中止や学校までもが休校・リモート授業を行うなど、日本中が対策・対応に追われてきました。試合や講習会も中止され、他団体と交流がなくなり、各校へ出向いていた外部講師も部外者立ち入り禁止のため、部活動に参加することができない。今皆がどう過ごしているかわからない。奈良県弓道連盟は県の各構成団体における新型コロナウイルスによる影響について、全体の把握ができない状況でした。こうした中、奈弓連だよりでなんとか情報を集めることはできないか。この未曾有の事態を記録として残しておきたい。そういった思いからアンケートをさせていただきました。集計に手間取り、皆様にご報告するのが大変遅くなりましたことお詫びいたします。団体、学校ごとの差がわかるようにグラフと表を掲載、そこから推察されることをコメントとして欄外に記載させていただいております。違う見解の方もいらっしゃるかもしれませんが、またご意見をお寄せいただければと思います。

今回のコロナ禍により、非常時だけでなく通常でも生かせるような対策が各団体で実施されていました。しかしながら、県連・団体・学校間、団体と個人間の情報の伝達経路の一層の整備や、ワクチン接種が始まった今、対応対策の緩みが生じていないか再確認の必要があることを感じます。どうぞ各団体・学校関係者の皆様のご苦勞を感じ、これからも対応・対策に皆で協力し、この事態を乗り越えていきましょう。（編集委員一同）